

【田舎館村教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- (1) 児童生徒自身がICTを学びのツールとして自由な発想で適切に活用できるようにし、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成する。
- (2) ICTの特性を最大限に活用して、誰1人取り残すことなくきめ細やかな支援をし、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会や多様な学びの機会の充実を目指す。
- (3) 児童生徒が自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持つことで、情報を正しく安全に利用できるよう、情報モラルの向上と情報セキュリティ意識の醸成を図るとともにデジタル技術の活用を通して、社会に積極的に関与し、参加する能力の習得を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に全児童生徒分の1人1台端末及び全学校における通信ネットワーク等を整備し、学校現場における教科や学習場面に応じた情報の収集・理解・整理・発信・共有及び個別の学びのツールとして1人1台端末の日常的な利活用を図るとともに、1人1台端末の家庭への持ち帰りを可能とし、デジタルドリル等を用いた家庭学習や、不登校傾向にある生徒の遠隔授業など様々な場面で活用することで、児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めた。

GIGAスクールの運営支援を業者に委託し、ネットワークトラブル等の早期解決や学校の要望に応じたICT活用の相談など、児童生徒の学習環境に支障が生じないように努めるとともに、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるための教職員のICT活用指導力の養成を図った。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末については、公教育の必須ツールとしての役割を踏まえ、計画的な維持・更新に取り組む。さらに、学校の通信環境については、授業等で多くの児童生徒が1人1台端末を一斉接続しても安定的に利用できる通信環境の確保に努め、ボトルネックなど、ICT利活用の障害となる要因への対策を講じていき、児童生徒及び教職員の意欲を阻害することなく、新たな学びへの挑戦を支援することとする。また、アクセス制御による対策を講じた上で、学習系ネットワークと校務系ネットワークの統合や汎用のクラウドツールの積極的な活用を推進する。

委託業者によるGIGAスクールの運営支援を継続し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に活かすため、端末を日常的に活用できるようICT活用指導力の向上

を図る。

タブレット端末の家庭への持ち帰りを日常化し、学習者用デジタル教科書・AI型学習教材を校内及び家庭学習で活用する。利活用の推進にあたっては、児童生徒1人1人が情報の持つ力を正しく理解し、適切に判断して行動できる力を持つことが必要であると考え。これらを実現するためにも、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することが重要であると考え。